

令和2年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	稲葉晃司 議員	1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	郷土史博物館構想に 新たな発想を	<p>(1) 10月22日の岳南朝日新聞、「私の発言」欄に総合的・俯瞰的な事業判断を願うといった新たな発想の提言が掲載されていた。その内容は大石寺にお願いして旧富士美術館を活用させていただくことで高額な建設費をかけることもなく、大石寺周辺を観光拠点の一つにできるはず。といったものであった。記事によれば関係者に確認したうえでの提言とあったので、大変興味深い記事であった。持続可能な社会づくりであるリユース（資源再活用）のモデルケースにもなり、富士山麓の歴史的資料を集めた施設を中心にして「信仰の聖地」としての大石寺周辺を観光拠点にするきっかけにもなると考えられることから、以下、伺う。</p> <p>① コロナ禍で状況が激変する中、先の9月定例会の松永議員の郷土史博物館構想に関する質問に対し、須藤市長は慎重に取り組んでいく旨を答弁された。その後、今回の提言が掲載され、改めて須藤市長に郷土史博物館構想をどのように考えているのかについて伺う。</p> <p>② 大石寺周辺を観光拠点のひとつにという考えについて、その可能性を伺う。</p> <p>(2) 地域の公民館や小・中学校の空き教室や少子高齢化に対応し、先の新聞記事にあった「総合的・俯瞰的な公共事業」を考える意味でも一考すべきと考え、以下、伺う。</p> <p>① 世界文化遺産の構成資産に建設してきたトイレや案内休憩所に増設または活用して地域ごとの資料展示空間を設けてネットワーク化することにより郷土資料館を構成資産で結ぶことはどうか。</p> <p>② 社会教育施設、郷土の資料収集整備にも意味ある小・中学校の空き教室、地域の公共施設、構成資産単位の分館構想であれば市内全体を「郷土史博物館」にできるのではないか。</p> <p>③ 山宮地区の方から「構成資産のひとつである山宮浅間神社の参道横に最近新築された山宮2区区民館に地域の郷土資料を展示する空間を設ければ郷土愛を育み地域の人々にも愛され資料も集まるのではないか」との話があった。これから郷土史博物館構想を練っていく過程で、市民の声を聞く形で総合的・俯瞰的な公共事業に取り組んでいただきたく思うがいかがか。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長
2	コロナ禍の教育環境 について	<p>(1) GIGAスクール構想を推進していく上で求められる情報管理、リスクコントロール教育の必要性について。</p> <p>① ICT機器への理解が求められて、活用の推進も図られているが、機器利用により生じるリスクを見落とした無防備な活用による情報漏洩や個人情報の拡散、コンピュータウイルス、ハッキングなどの対策は充分か。学校教育へのパソコン導入にあたり、情報管理やリスクコントロールの教育を優先して行うべきと考えるが市当局の考えはいかがか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

発言 順序	17	議席 番号	17	氏名	稲葉晃司 議員	2/2
発言項目				要 旨		答弁者
				<p>(2) ウィズコロナ社会における教育において、先の第1波の時に学校を一斉休業にした際の教育支援についての検証は行われているか。あつてはならないことであるが、何らかの事情で学校の休業が起きた場合の対策を検討していく上でも検証は必要と考える。以下について伺う。</p> <p>① 一斉休業の検証はされているのか。検証から得られた課題は何か。</p> <p>② 学校を休業にした際の家庭への支援は十分であったのか。</p> <p>③ 休業にしたとはいえ、家庭環境から子どもたちを学校で預かって指導しなければならなかった学校現場の実態の検証はされたのか。学校の負担に対する十分な支援はできていたのか。現場の声や教職員の負担はどうであったのか。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症防止対策として下校後も求められている教室内・机等の消毒の徹底など、現在の学校現場で教職員の負担が増えていることはないか。現状を捉えた学校支援策は十分か。</p> <p>⑤ コロナ禍の教育において子どもたちの生活態度の変化による問題などはないか。現場の教職員や支援員との連携で子どもたちの変化を把握できているか。</p>		
3 2	ごみゼロ作戦		その	<p>(1) 菅総理大臣が所信表明演説において2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言したが、須藤市長はどのように受け止め、今後の富士宮市の環境政策をどのように展開していくのか。</p> <p>(2) 前段の所信表明演説の中で、再生可能エネルギーを最大限導入とあったこと、また、須藤市政が熱心に取り組んでいるごみダイエットプロジェクトをさらに踏み込んでいく上でも生ごみの分別化と紙おむつの分別は一般廃棄物処理基本計画に取り入れるべきと考えるがいかがか。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長